

北海道の

学校図書館

発行 北海道学校図書館協会
 会長 渡部 浩士
 事務局長 佐藤 正行
<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>
 印刷所 (株) 有 伸 商 会
 TEL (011)814-6211

道SLA全道研究部長会開催される

～コロナ禍の中、オンライン会議で～

北海道学校図書館協会第55回研究部長会を9月26日(土)、27日(日)の両日にわたって行いました。今回は新型コロナウイルス感染症防止のため、ZOOMを利用して初のリモート会議となりました。

○函館大会の準備、進む!

1日目は、2021年度(令和3年度)に開催予定の北海道学校図書館研究大会函館大会について審議しました。まず函館支部の紺野克典会長より、大会についての概要について提案されました。日程は、2021年(令和3年)9月3日(金)、4日(土)。メイン会場を函館市立大森浜小学校とし、市内4か所で授業が行われます。分科会では、渡島や檜山を含めた3地区で発表者を決め、夏休み中に研究部全体会を行い、精力的に準備を進めているとのことでした。

続いて、加茂有希子研究部長より、研究テーマ及び設定の理由について、新学習指導要領や函館支部の現状を踏まえた原案が発表されました。函館支部の思いを生かしながらも、研究主題を明確に表すための意見が活発に出されました。また、小樽支部の田代和花子研究部長、岩見沢支部の赤川義昭事務局長より、支部の活動について報告がありました。

○読書感想文コンクールの審査、精力的に取り組む

学校図書館運営マニュアルの見直しに着手、学校司書の配置状況を交流

2日目は、道内各支部からの活動について、札幌支部の志村知子研究部長、函館支部の加茂有希子研究部長、空知支部の古関亮子事務局長、旭川支部の吉井華菜研究部長、苫小牧支部の高取有子研究部長、帯広支部の福原睦子研究部長、十勝地区高校の前田章憲研究部長、釧路支部の原田亜美事務局長から報告いただきました。各支部とも例年通りの活動はなかなか行えない中、読書感想文コンクールの審査や学校図書館運営マニュアルの見直しなど、今できることを工夫しながら取り組んでいました。活動の交流では、各支部で作成している運営マニュアルや学校司書の配置などが話題にあがりました。また、他団体との連携についても報告があり、学校図書館への理解を広げるために連携(つながり合うこと)が大切であることが話し合われました。

○連携と交流が大きな力に!

画面を通してではありましたが、9支部、20名を超える参加者とともに函館大会、支部の活動について交流することができ、大変有意義な場と時間になりました。ご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。

(文責：北海道学校図書館協会
 研究部長 山田佳子)



選定部の仕事 ～読んで、読んで、読みまくる～

北海道学校図書館協会 選定部長 山本裕子

北海道学校図書館協会選定部は、1年を通してその月に出版された新刊の児童書を読み、検討協議を重ねその月の推薦図書リストを作成し協会のHP上で公開している。そのリストを土台に「夏・冬休みにおすすめする本」「読書感想文コンクール・北海道指定図書」「北海道青少年のための200冊」が選定される。

世の中には、カリスマ書店員や読書家の芸人や女優、書評家、各メディアと実に多くのお薦め本リストが溢れている。私ども選定部のリストがそれらと一線を画するのは、選定の軸足と視点が学校図書館と教育現場にあることである。



選定活動は、月に2回（第2と第4木曜日）の選定研修会（以下、選定会）で行われる。16時からの開催ではあるが、定時に部員全員が揃うことはまずない。学校現場は常に何かが起こるところである。諸々を片付けて来る訳で大方が揃うのが18時を過ぎることも珍しくはない。

選定会は幼児・小低、小中、小高、中学、高校の5チームに分かれて行く。運び込まれた図書のレベル分け（早く着いた部員の仕事）されたすべてを、チームの全員がひたすら読む。読了後に各自が薦めるものをチーム全員で検討協議をし、選ばれたものがその月の推薦図書となる。

選定会に取次から運び込まれる図書は、2週間の間に取次に入った新刊で児童書の括りで自動選書されたものである。そのためゲームの攻略本や豪華な大型しかけ絵本、小学生のための恋愛指南書等々選定が難しいものも多々入ってくる。が、すべてを持って来てもらうのは、取次での善意の介入やバイアスの排除のためである。

高校については選定対象図書がほぼ一般書のため、選定会での選定はほとんどできない。概ね書店で新刊チェックをし、その後読み、検討協議となるため時間的にも色々苦勞が多い。

選定会での検討協議では、「どう授業で使えるか」「単元資料としてドンピシャ」「絵と文のバランスが?」「本の作りに対して内容が難しすぎる」「総ルビがかえって読みづらい」等々の多くの見解が飛び交う。学校図書館資料としての活用の工夫や問題点までに及ぶ検討協議こそが選定研修会、選定部の真骨頂である。発表されたリストにはその過程が載ることはないが、



すべてのリスト掲載図書は選定部員が必ず読んだ本であることを改めて伝えたい。

選定会ではひたすら本を読み、濃密な研修で時間が過ぎていくが、更に選定過程の判断や技術や情報を共有し選書力を高めるため、3年前から選定部独自の研修会を長期休業中に行っている。

選定された本が学校図書館の蔵書となり、顔となり、歴史となり、児童生徒の「あの時の一冊」になること、学校図書館が紡ぐ物語となることを願って、選定部員は今夜も本の虫と化している。



「共に支える」存在として～学校司書の仕事～

学校司書 浅村 麻姫子 (札幌市立手稲中学校・稲積中学校)

札幌市では、今年度から会計年度任用職員という身分で、中学校全校に「学校司書」が配置されました。昨年度までの「学校図書館司書」(有償ボランティア)から制度が変わり、採用面接が行われて今年度を迎えました。やっと正式な職員として勤務できる嬉しさ半分、しかし勤務時間数は有償ボランティア時代と同じ1校当たり週15時間という制限がある残念さが半分。しかし、やはり職員であることでぐっと学校司書本来の役割を果たすための環境が整う素地ができてきたと感じています。

この4月、職員化と同時に、新しい学校2校での勤務となりました。まずは2校合わせて約100人の教職員の顔と名前を完璧に覚え…たと言いたいのですが、道半ばです。現在進行形で頑張っています。

新型コロナウイルス対策として、「密にならない」図書館運営、校内共通レベルの消毒作業、返却本の消毒または一定期間取り置きと、現状に合わせて、担当の先生方、管理職の先生方と相談しながら業務を進めています。休校期間中と夏季休業中には、在宅勤務も経験しました。「図書館ニュース臨時号」を作成して学校ホームページにアップ、無料で閲覧できる電子書籍を紹介しました。毎年恒例の春の図書館向け図書展示会が見送られたため、そのかわりに、学校に届く大量の図書のカatalogを、隅から隅までチェックしました。これは今までにしたいと思ってほかの業務を優先してできなかったことでした。季節に合わせた装飾づくりも、在宅勤務で取り組みました。

職員として学校司書配置が進んでいく中で心配なのは、学校図書館経営が「学校司書にお任せ」になりはしないか、ということです。学校司書は資料の専門家として、司書教諭や図書係教諭と協力して学校図書館資料を選定し、整備し、授業を支援し、児童・生徒の読書や学習、先生方の授業づくりを支援しますが、授業を主担当する立場ではないゆえに見えにくいものがあります。例えば資料の選定では、学習内容や個々の生徒の発達・理解のレベルについて、教諭の視点は欠かせないものです。学校司書の視点や資料選定力と合わせることで、自校の図書館によりふさわしい図書を選ぶことができます。司書教諭がしっかりと機能している重要性を、今改めて感じています。また「学校司書が勤務する日だけ、学校図書館を開館する」という残念な話も、少数ではありますが他校の事例として聞かれます。学校図書館ガイドラインに沿って、基本的に毎日、登校から下校までいつでも児童・生徒が図書館を使えるようにしたいものです。理解不足から、「教員の業務適正化」という名のもとに本来的に教諭が行う図書館運営業務まで学校司書に丸投げになっていないか、そうならないかと心配しています。近隣にそのような学校はないでしょうか。



館内で特設展示の図書を生徒に薦める(稲積中学校)

目指すべき学校図書館像を教職員全体で共有できるよう、最新の情報を積極的に学び、時には情報提供しながら、司書教諭・図書係教諭、そして館長である校長先生とともに学校図書館の運営に当たり、児童・生徒の読書活動と学習、先生方の授業づくりを支えたいと考えています。



3学年学年道徳での絵本読み聞かせ(手稲中学校)

支部だより ～旭川支部

旭川学校図書館協会では、今年度の研究テーマを「学びを支え、豊かな心を育む学校図書館」と設定し、研究を進めています。今年度は、新型コロナ感染拡大防止のため、活動が制限されておりますが、例年以上に会員と連絡を取り合いながら進めています。

研究活動としては、昨年度実施した「北海道学校図書館協会研究大会旭川大会」の成果を基にした各校の実践交流、旭川市学校図書館運営マニュアルの改訂に向けての研究協議、読書指導の授業参観を中心とした計画の下、研究を推進しています。各校の実践交流では、日常の学校図書館を活用した授業実践の情報交流やコロナ禍における図書館利用の留意点に関する情報交換を行っています。運営マニュアルの改訂に向けて、昨年度、学校司書の協力を得て、現在のマニュアルの課題を探りました。課題の解決に向けて、各学校の司書教諭や学校司書と連携し、マニュアルの改善を図ります。

例年の主な事業としては、「旭川市児童・生徒読書感想文コンクール」と「旭川市親子で本の紹介コンテスト」を実施しています。前者では、旭川市内の小中学校、高等学校より寄せられた読書感想文を旭川市教育研究会学校図書館部員と旭川市学校図書館協会連絡員が審査を行い、旭川中央図書館と連携した表彰式を行っています。後者は、旭川市内の小学生を対象としたイベントであり、参加者の前で親子がおすすめの一冊を紹介し、残念ながら、発表者が参加者に向けて語りかける内容であるがゆえ新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、令和2年度の実施はやむなく開催を中止することとなりました。



旭川市児童・生徒読書感想文コンクール審査会の様子

他には、「中学生作文コンクール」の審査協力や、第4次旭川市子ども読書推進計画の策定の協力、旭川市教育研究会特別支援教育研究部会「図書館バリアフリー部」との連携を行っています。

旭川市では、旭川市教育委員会が読書指導に重点を置き、各学校では読書習慣を身につけさせる活動が行われています。また、各校に学校司書が配置されているメリットを生かした読書指導を充実させていきたいと思っております。旭川支部では、旭川市内の全学校で、子ども達の「学びを支え、豊かな心を育む学校図書館」が実現されるように情報提供、支援を行います。

(文責：旭川学校図書館協会事務局長 旭川市立東光小学校 教諭 十河恵理子)

コロナ禍の学校図書館でできること～学校司書の仕事～

学校司書 児玉優子 (札幌市立栄南中学校・栄町中学校)



【教職員用】利用案内 Library NAVI(栄南中学校)

今年度はスタートして早々に、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため学校休業となり、学校図書館は閉館を余儀なくされました。その期間を利用してまず取り組んだのが、図書整理とサインづくりです。今以上に資料にアクセスしやすいように、そして開館したらいつでも図書館の利用指導ができるように、更新の必要な本の除架やNDCに沿った排架作業を、集中して一気に進めました。

その作業と並行して、学校ホームページで臨時図書館便りを公開し、生徒に向けて、無料で楽しめる電子書籍や、学びを深めたり興味を広げたりできるサイトの紹介をしました。教職員向けには、学校図書館の活用方法や蔵書状況をまとめた司書便りのほか、手のひらサイズの「Library NAVI」(じゃばら折りのリーフレット)で利用案内を作成・配付、形の珍しさもあって、多くの先生の目に留まることとなりました。

学年ごとの開館で、どうしても利用が制限される今、本と生徒をつなぐきっかけになれば・・・と始めたのが、1日1冊ずつ本を紹介する「今日は何の日?」。図書館入口の掲示板を使って、その日にちなんだ本を毎日選んで展示しています。利用時間以外でも目にする事ができるうえ、紹介カードをファイル式にしているので、生徒がそれをめくりながら「この日は〇〇の日だって!」と話している姿を見るのは嬉しいものです。

密を避けるため、図書館内で学級単位の授業を行うことはまだ難しい状況ですが、総合の調べ学習では、資料の準備やレファレンスのほか、パスファインダーを作成し、より効率的・効果的に調べられるよう支援しています。パスファインダーとは、調べ方を紹介した手引きのことで、図書資料・インターネット資料の紹介をはじめ、調べ方のコツや注意点をまとめています。今後、学校の教育課程に合わせて、各種テーマのパスファインダーも蓄積していきたいと考えているところです。

年度の後期に入り、図書館担当教諭と学校司書が協力して、時間限定で放課後も開館ができるようになりました(帰り学活終了後15分間)。部活に行く前や帰宅する前のちょっとした時間に図書館に寄って、書架を見て回ったり、展示の本を手にとったり、気になった本を借りたり……。何かと慌ただしい雰囲気の中、これこそ、学校図書館の「心の居場所」機能。これから寒い冬を迎えますが、手洗い・換気・マスク着用の感染予防対策をしっかりとって、本を楽しむ居心地の良い学校図書館をつくっていききたいと思っています。



「今日は何の日?」(栄町中学校)

北海道学校図書館研究大会函館大会

2021年9月3日(金)～4日(土)開催

～感染症予防対策に追われる中、開催できることを信じて準備を進めています～

函館市支部では、来年度の第44回北海道学校図書館研究大会函館大会の開催に向けた取組を、2019年度(令和元年度)に準備委員会を立ち上げ、今年度は運営委員会を発足、現在、関係者が一丸となって準備を進めています。これまで、旭川支部との引継ぎにより、多くのご苦勞が詰められた資料をいただき、心より敬意を表する次第です。

今年度は、臨時休業の中、感染症予防対策のため各種研究大会は中止となり、各会議の集まりさえ避けなければならなかった中、何とか6月に第1回大会運営委員会。8月には、第2回大会運営委員会と第1回研究部全体会を開催することができました。大会組織の立ち上げ、大会期日や日程、会場と会場移動方法の検討、授業者・提言者の決定、記念講演講師の依頼、セッション講師の検討等、会員40名弱の少数数組織でどう対応していくか、課題は多く、悩みながら検討を進めて参りました。

おかげさまで、8月14日の研究部全体会では、授業者・提言者が一堂に会し、顔を合わせる事ができました。北海道学校図書館協会研究部長である上白石小の山田佳子司書教諭に「学校図書館を学びの拠点に!～学校図書館の授業とは～」という講演を行っていただき、その後は3つの領域内容に分かれて授業や提言に向けての意見交流が行われました。研究主題も「～学びを支え、豊かな心を育む学校図書館(仮)～」として、研究への取組がスタートしております。

9月26～27日にオンラインで行われた全道研究部長会議におきましては、函館大会についての概要を説明いたしましたが、今後各支部には、提言者や司会者、助言者についてご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

函館大会では、函館市中央図書館、遺愛女子中学高等学校などでの授業。函館、道南にゆかりのある作家谷村志穂さんの講演、函館が舞台の小説の映画化に携わっている方や、地域の人々と書店のフリースペースで本とを繋いでいる方、絵本作家や読語りのプロなどによるセッションの開設に向けて準備を進めております。

感染症が治まり函館大会がのびのびと開催できることを祈り、函館で皆さまの参加をお待ちしております。

文責：北海道学校図書館研究大会函館大会事務局 小林徹也
(函館市立赤川中学校 校長)

第32回読書感想画コンクール・第8回全道コンクール募集要項

- 1 主 催 公益社団法人全国学校図書館協議会 毎日新聞社 北海道学校図書館協会
- 2 後 援 北海道・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会・北海道読書推進運動協議会・北海道国語教育連盟・北海道造形教育連盟
- 3 対象図書 (1) 自由読書(推薦「北海道青少年のための200冊」)(2) 指定読書(主催者が指定した図書)
上記の中から本を選び、その読後感を感想画で表現する。
- 4 応募締切 令和2年12月25日(金)
- 5 応募資格 北海道内の小学校・中学校・高等学校に在学する児童生徒
満20歳以下に限る。(2000年4月2日以降出生)
- 6 作品規定 ※感想画用紙は、画用紙・ケント紙・キャンバスボード・マニラ紙・ボール紙いづれでも可。
(ワク貼りキャンバスや木製パネルなど厚みのある作品は不可)
作品の寸法は、36cm×25cm以上で、55cm×40cm以下(8つ切～4つ切)とする。
※絵具は、クレヨン・パステル・水彩・油絵具など自由。版画・はり絵も可。
(ただし、立体など厚みのあるものを貼付した作品及び破損しやすい作品は審査の対象としない。)
※作品の裏面に、応募票・作画感想(200字以内)を貼付すること。(用紙は中央コンクール応募要項のものを使用)※作画感想は原則として自筆とする。
※募集要項に合わないもの、読んだ本にある絵をまねたもの、ポスター、映画・DVD等の場面をまねたものは審査の対象としない。
- 7 応募に当たって
※一人で自由読書・指定読書それぞれ各1点応募できる。
※応募作品の著作権・出版権は主催者に帰属し、原則として作品の返却はしない。
※作品は必ず在籍校に提出し、学校単位で応募すること。
- 8 応募先 ㊦060-8643 札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日新聞社北海道支社
『第32回読書感想画コンクール・第8回全道コンクール』係
電話011-281-5252 FAX011-251-3551
- 9 審査 主催者が委嘱した審査委員により行う。
- 10 審査区分 ①小学校低学年(1・2・3年)の部 ②小学校高学年(4・5・6年)の部
③中学校の部 ④高等学校の部
- 11 賞 1) 個人賞
①最優秀賞 ②優秀賞 ③優良賞 ④奨励賞
2) 学校賞～上記の①②③を受賞した児童生徒の在籍校の中で優秀と認められる学校
※各部位上位各4点(自由2点・指定2点)、合計16点を北海道代表作品として中央コンクールに提出する。
※入賞発表は、毎日新聞紙面にて行う。(2月上旬予定)

	◎指定図書(書名)	著者名	出版社	価格(税別)
小学校	ハンカチともだち	なかがわ ちひろ(作)	アリス館	1,400円
	もしも恐竜とくらしたら	山本省三(作) 本田 隆行(監修)	WAVE出版	1,300円
	魔法のたいこと金の針	茂市 久美子(作) こみね ゆら(画)	あかね書房	1,200円
小学校 低学年	かわにくまがおっこちた	リチャード・T・モリス(著) レウイン・ファム(絵) 木坂 涼(訳)	岩崎書店	1,500円
	夏に降る雪	あんず ゆき(作) 佐藤 真紀子(絵)	フレーベル館	1,400円
小学校 高学年	月でたんじょうパーティーをひらいたら	ジョイス・ランパン(文) シモーナ・チェッカレツリ(絵) 原田 勝(訳) 縣 秀彦(監修)	廣済堂あかつき	1,600円
	貸出禁止の本をすくえ!	アラン・グラッツ(著) ないとう ふみこ(訳)	ほるぷ出版	1,500円
	太陽ってどんな星?	宮原 ひろ子(作)	新日本出版社	1,500円
中学校 ・ 高等学校	もえぎ草子	久保田 香里(作) tonno(画)	くもん出版	1,500円
	王の祭り	小川 英子(著)	ゴブリン書房	1,500円
	ゴースト	ジェイソン・レイノルズ(作) ないとう ふみこ(訳)	小峰書店	1,500円
	戦場の秘密図書館: シリアに残された希望	マイク・トムソン(著) 小国 綾子(編訳)	文溪堂	1,500円
	よみがえった奇跡の紅型	中川 なをみ(著)	あすなる書房	1,500円

2020年度 北海道の先生がおすすめる本 北海道指定図書

小学校低学年の部



きょうりゅうのサン いまぼくはここにいる

かさいまり/文 星野 イクミ/絵
アリス館 定価1,500円+税
サンは、ティラノサウルスに追われて海の中へ。そして化石になった。北海道で発見されたカムイサウルスがモデルの絵本。



とんでいった ふうせんは

ジェシー・オリベロス/文 ダナ・ウルエコッテ/絵
落合 恵子/訳 絵本塾出版 定価1,500円+税
おじいちゃんの手を離れて、次々に飛んでいった記憶という風船。認知症をテーマに家族の絆と愛情を描いた絵本。



おおゆき

最上一平/作 加藤 休ミ/絵
鈴木出版 定価1,400円+税
大雪で動けなくなった車がなんと1000台渋滞でトイレには行けないし、おなかはすくし…。雪国の助け合いの物語。



キリンのあかちゃんが うまれた日

志茂田 景樹/文 木島 誠悟/絵
ポプラ社 定価1,500円+税
「きたのどうぶつえん」のつがいのキリン、スカイとコハネ。コハネに赤ちゃんができて、お父さんになるスカイはドキドキ…。

中学校の部



恐竜まみれ 発掘現場は今日も命がけ

小林 快次/著
新潮社 定価1,450円+税
「見つけたぞ!!」北海道発の新種恐竜カムイサウルス、謎だらけのデイクネイスはこう発掘された。北大教授が語る探検記。



リスタート

ゴードン・コーマン/著 千葉 茂樹/訳
あすなる書房 定価1,600円+税
13歳の少年が記憶喪失になった。自分は、以前かなりのワルだったことを知る。少年が自分の過去と闘っていく物語。

小学校中学年の部



北国からの動物記 クマゲラ

竹田津 実/文・写真
アリス館 定価1,400円+税
大型のキツツキ、クマゲラは、ドドドという音で木を掘り、ひそひそ虫を探します。体のふしぎや子育て、森の恵みも紹介。



手と手をぎゅつとにぎったら

横田 明子/作 くすはら 順子/絵
佼成出版社 定価1,300円+税
それぞれの子が持つ個性に対する理解を深め、障害者や健常者という枠を超え、友情を育む心の交流を描いた作品。



ポリぶくろ、1まい、すてた

ミランダ・ボール/文 エリザベス・ズーン/絵
藤田 千枝/訳 さ・え・ら書房 定価1,500円+税
いま世界に広がっているプラスチックごみ問題。20年前、ポリ袋のリサイクルをはじめた女性の実話を元にした絵本。

小学校高学年の部



読む喜びをすべての人に 日本点字図書館を創った本間一夫

金治 直美/文
佼成出版社 定価1,500円+税
5歳で失明した本間一夫さん。本の朗読を聞くのが大好きだった彼が、国内最大の点字図書館を創立するまでを描きます。



いつか、太陽の船

村中 季衣/作 こしだ ミカ/絵
新日本出版社 定価1,500円+税
宮城県気仙沼で大地震にあった海翔は、造船業を営む両親と北海道の根室に移住した。根室はサンマの街だった。



風を切って走りたい! 夢をかなえるパリアフリー自転車

高橋 づらら/著
金の星社 定価1,400円+税
自転車に乗りたいと願う体の不自由な人のために、多くの自転車を作り続けた畑田健一さんを描いた感動のノンフィクション。

感想文は夏休み明けに、学校に出してください。
詳しくは、「応募のきまり」をご覧ください。

●ホームページ

北海道学校図書館協会

検索

第66回 青少年読書感想文全道コンクール 第46回 北海道指定図書読書感想文コンクール

■主催/北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社

■後援/北海道・北海道議会・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会 ■選定協力/北海道読書推進運動協議会

北海道の本を読みましょう!

第53回 北海道学校図書館研修講座 へのご案内

さらに詳しい
情報を
11月下旬
ホームページに
掲載します

- 主催** ●北海道学校図書館協会
- 後援** ●北海道教育委員会 札幌市教育委員会
- 趣旨** ●学校図書館の運営及び情報・メディアを活用する学びの指導、並びに読書指導に関する基本的事項について理解を深めるとともに、学校図書館の目指す方向と役割についての見識を深め、学校図書館の機能の向上を図ることを目的とする。
- 日時** ●令和3年1月7日(木)
- 会場** ●北海道立道民活動センター(かでの2・7) 札幌市中央区北2条西7丁目 TEL (011) 204-5100
- 参加資格** ●学校図書館及び読書指導・学びの指導に関わっている方ならどなたでも参加できます。
- 定員** ●A共通講座(講演):50名、B選択講座(ファーストコース)、C選択講座(ステップアップコース)、D指導者研修講座:B~Dの講座は各30名程度
※今年度は会場定員内です。できるだけ多くの方にご参加いただけるよう、午前と午後、それぞれ単独でのお申し込みも受け付けます。
※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、会場定員が緩和された場合はその範囲内で定員を増やす可能性があります。
- 参加費** ●2000円(資料代を含む) ※午前または午後、どちらかだけの場合は1000円
- 参加申込** ●参加ご希望の方は、**12月1日(火)~11日(金)の期間にインターネット**でお申し込みください。北海道学校図書館協会ホームページの「北海道学校図書館研修講座」から研修参加申込書をダウンロードし、必要事項を入力して申込用アドレスへ送信してください。※今年度、FAX申し込みはありません。参加申込書は11月下旬にアップする予定です。参加申込期間内、先着順での受付となります。
- お願い) 新型コロナウイルス感染防止対策にご協力ください。マスクの着用、手指消毒をお願いいたします。
当日、体調不良の方、発熱のある方(平熱よりも高い、または37.5度以上)はご参加いただけません。

お問い合わせはメール、またはFAXでお願いいたします

問い合わせ先 浅村 麻姫子 メールアドレス: hokkaidosla2020@gmail.com

※今年度の専用アドレスです。昨年度までとは異なりますので、ご注意ください。

FAX: 011-684-5738 (札幌市立稲積中学校)

今できる中で
最大限の学びを。
志と知恵をもち寄って
充実した研修にしたいと
思います。
参加をお待ちしています。

A: 共通講座 ~ 教育・学校図書館を取り巻く現状と展望について学びましょう。

講演「民主主義社会と学校図書館—批判的思考力と関わって—」

元藤女子大学 教授 渡邊 重夫

B: 選択講座: ファーストコース ~ 学校図書館に関して基礎から学びたい方におすすめのコースです。

1. 講義「管理・運営」「図書館活動」 札幌市立もみじの森小学校 司書教諭 安藤理恵子
2. 講義「読書指導」「情報・メディアを活用する学びの指導」 江別市立江別第二小学校 司書教諭 井上 陽子

C: 選択講座: ステップアップコース ~ もう一步深めたい方におすすめのコースです。

1. 講義・実習「楽しく進める情報活用能力の育成」
(公社)全国学校図書館協議会 学校図書館スーパーバイザー 佐藤 敬子
2. 講義・実習「情報源を上手に使うには」 北海道学校図書館協会研究部 新田 裕子
3. 講義・実習「ステップアップ・読書アニメーション」 札幌市立栄小学校 教諭 佐藤 広也

D: 指導者研修講座(第56回全道研究部長会)

1. 第44回北海道学校図書館研究大会(函館大会)にむけて
2. 支部研究交流

各支部研究部長

北海道学校図書館協会研究部長 山田 佳子(札幌市立上白石小学校 司書教諭)
北海道学校図書館協会事務局長 佐藤 正行(札幌市立西岡南小学校 校長)

【研修日程】

- | | | | |
|-------------|-------|-------------|-------------|
| 9:30~10:00 | 受付 | 13:15~15:30 | 選択講座(B、C、D) |
| 10:00~10:25 | 開講式 | 15:30~15:40 | 閉講式(各会場にて) |
| 10:25~12:00 | A: 講演 | | |
| 12:00~13:15 | 昼食 | | |

※午前の受付は820会議室、

午後のみ参加の受付は1030会議室(本部)で行います。

学校図書館情報

◆第74回読書週間 [公益社団法人読書推進協議会]



この機関紙がお手元に届くころには、10月27日の「文字・活字文化の日」が過ぎ読書週間が終わろうとしている頃だと思われます。読書週間ポスターの作者なにかおりさんは「思うように旅ができない世の中になってしまいました。本は、未知なる場所へ連れて行ってくれる、いちばん身近な移動手段かもしれません。今年もいつもと変わらず、素敵な本との出会いがありますように。」、標語の作者野呂美由紀さんは「物語に引き込まれラストまで駆け抜ける。早く走り抜けても、のんびり歩いても。本は自分のペースで読み進められます。道のりが困難でもゴールは待っていてくれる。あなたを待っている物語がきっとあると思います。」という素敵なメッセージを添えています。

「読書の力によって、平和な文化国家をつくろう」という読書週間制定当初の理念が普遍的であることを、お二人の言葉から改めて考えさせられます。

◆全国SLA「SLA情報局Online」

これまで全国SLAでは「学校図書館実践講座」を毎月第2土曜日に開催していました。2020年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、参加者を集めての研修会を開くことが難しい状況となりました。しかし、研修会を望む声があちこちから届き、要望に応えられるようオンラインイベントプログラムを企画し「SLA情報局Online」を立ち上げました。

第1弾は10月10日に全国SLA顧問森田盛行氏が「学校教育にかかわるすべての人に！みんなで学ぼう 学校教育と著作権」と題しオンライン講演を行い好評を博しました。第2弾は11月5・6日に「学校図書館セミナー2020」を公開。第3弾も企画中です。研修機会が少ない今、興味のある方は、全国SLAのホームページからお申し込みください。



事務局

事務局長 佐藤 正行(札幌市立西岡南小学校長)
 事務局校 札幌市立西岡南小学校
 〒062-0034 札幌市豊平区西岡4条12丁目7-1
 TEL 011-582-6350 FAX 011-582-1590

Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アメニティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用下さい。

キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15
 TEL (011) 857-3331
 FAX (011) 857-5211

◆第32回読書感想画コンクール・第8回全道コンクール →募集締切12月25日(金)

全道の小中高等学校・特別支援学校に向けて先月要項を送りました。締切まで時間がありますので学校関係者の皆様には、応募への働きかけをお願いいたします。またその際には、「自由読書」に2020年度(令和2年度)「北海道青少年のための200冊」を是非お勧めくださるようお願いいたします。

◆新刊紹介

『探究 学校図書館学4 読書と豊かな人間性』

「探究 学校図書館学」編集委員会・編著 2020年発行
 ISBN 978-4-7933-2277-8
 全国学校図書館協議会 2,000円+税

司書教諭は、学校司書と連携・協働し、教諭として学校図書館活用や各教科等における読書指導の推進役となることが求められています。本書は、5科目10単位の司書教諭講習のうち「読書と豊かな人間性」のテキストとして長年活用されてきた全国学校図書館協議会のシリーズ学校図書館学「読書と豊かな人間性」を全面改訂して編集されました。司書教諭講習のテキスト



として、司書教諭の職務の参考として活用していただきたい一冊です。(本書「序」より)

編集後記

研究部長会議のオンラインによる実施や読書感想文コンクール表彰式の2部制での開催、第53回北海道学校図書館研修講座の1日日程での短縮開催等、コロナの状況や社会情勢から慎重を期す行動が依然求められています。様々なことが手探りの中での取組ですが、学校図書館を中心とした読書教育をとおして、北海道の子どもたちの心に読書の火を灯し続けましょう。

(編集:村山 知成 杉本 操 野村 邦重)
 大久保雅人 佐藤 正行

ホームページアドレス
<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>